

野鳥・ヒト・技術が繋がる 「野鳥被害対策コーディネート」づくり

活動地域 新潟県

ひろげる助成
3年目
知識の提供・普及啓発

講演会の参加者	100人
啓発パンフレットの送付数	93件
今年度計画の達成度	75%
目標達成度	90%



鳥害対策講演会での実習風景

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

活動の結果、獣類による被害が「鳥による被害」だと誤って認識されており、単なる技術論では対策が進まなかった。

■ 工夫した点

技術よりも被害者の意識に焦点を向け、鳥害の許容可否を当事者が判断できるような情報を集めることに注力した。

課題

新潟県の農作物被害は鳥類による被害が66%を占めている。ところが鳥害に対する対策が確立されておらず、今後も鳥害対策が相対的に重要なシェアを占めることが予測される。

目標

被害把握、対策のコーディネート、普及啓発を行い、多様な鳥や現場に対応できる「総合的な鳥害対策」と、それを実現させるための技術や人材などの「仕組み」を確立する。

活動内容と成果

- 2地域にて鳥害における課題解決のためのコンサルティング・コーディネートを実施し、適切な被害把握と評価方法について検討した
- 新潟県及び茨城県において、効果的な鳥害対策に関する講義と実習を実施した
- 3年間の活動成果から啓発パンフレットを制作し、県内の93関与先へ資料の送付を行った



鳥害実態調査の様子



カラスの食害にあったスイカ

全助成期間の活動を振り返って

被害金額という面では、本活動により1,000万円をこえる被害金額のインパクトを出すことができた。その一方で、既存の被害金額と現場の意識(当事者が意欲的に被害対策を検討する意思があるか)には乖離がある可能性があることが懸念される。また、3年間の活動を通して県内の関係機関とのネットワークが強化できたため、今後の活動展開にも期待できる。

〒940-0864
新潟県長岡市川崎4-253-5
電話：070-4106-4883
E-mail：info@wironkemono.com
HP：http://wironkemono.com



今後の展望

本活動が取り組む課題を解決するためには、鳥類による被害量を正しく認識することが重要である。また、野生鳥獣被害は「損失をどの程度問題だと感じるか」という当事者の主観に大きく影響を受けていることが判明したため、本事業で整理した鳥害対策の技術を活用しながら、引き続き、被害関係者(行政や農業者)とのコミュニケーションを重視した取り組みが必要である。